

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 浜松日本語日本文化研究会

1. 事業名称

浜松日本語学習支援これだけプロジェクト

2. 事業の目的

この事業の目的は、浜松に暮らす外国人が日々の生活の中で出会う様々な場面で使われる日本語の学習機会を提供し、習得へと導くことによって、外国人が地域社会の一員として、安全で楽しく、充実した生活を送ることのできるように支援することである。

教室設置・運営においては、「生活の中で使える日本語」を教え、日本での生活のために必要と思われる情報・知恵を提供する。また、地域において生活・就労しながら日本語を学ぶ学習者の交流の場を提供する。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施においては、本事業に関わる日本語指導者を中心に、浜松地域と周辺で地域日本語教室に関わる日本語指導者のスキルアップの場を提供する。

日本語教育のための学習教材の作成においては、地域の教室において会話を中心に据えた日本語教育を学習者にとって振り返りやすくするためのトピックごとのワークシートを作成する。

3. 事業内容の概要

多様な学習者の多様なニーズに応えるべく、識字及び会話クラスをレベル別に設置するとともに、6回の研修を通して、地域社会に暮らす外国人の学びに寄り添った教室活動を展開したり、教材を作成したりできるような日本語教師を育成する。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年7月28日 14:00～16:00	2時間	浜松市市民協働センター	森篤嗣 加藤庸子 敷浪のぞみ	教室の方針確認 識字指導についての意見交換 評価についての意見交換	・学習者に対して教室のスタンスを明確に説明して、文法中心ではなく、会話や言葉を中心にするクラスであることをクラスに入る段階に理解してもらう。 ・使用頻度の高い漢字を教える。 ・見て分かればいい漢字と書ける必要がある漢字を区別する。 ・教室で学んだことが学習者の生活に役立ったかどうかはもっぱら学習者の事後報告でのみ判断ができることであり、そのためには個人面談の時間をとらないと難しい。 ・〈生活者の日本語教室において評価が必要なのか。学習者の自己評価で十分なのではないか。〉→毎回のクラスの中で、目標項目が
2	平成25年1月20日 17:30～19:00	1時間30分	静岡県西部パレット	森篤嗣 松葉優子 古橋哉子 加藤庸子 敷浪のぞみ	学習者数推移について報告 クラス分けについての意見交換 評価についての意見交換	・4～6月に有料だったことで、前半は学習者数が伸び悩んだ。 ・チラシの効果もあって、秋以降に急激に増加傾向。 ・レベル判断が明確に出来ない場合が多いため、基本的には学習者の自己申告制にするべき。レベル間の移動希望に柔軟に対応する。 ・(属性別にすべきか、レベル別にすべきか)→教える側にとっては属性別クラスの方がニーズがつかみやすいが、学習者にとっては普段は関わらない属性の人たちと勉強できることも有益と考え、レベル別のままでクラス分けをする。 ・(「おしゃべり型」と「会話＋文法型」を作ってはどうか

【写真】



【第2回運営委員会平成24年1月20日(日)】

5. 日本語教室の設置・運営

(1) 講座名称 日曜日パレットにほんご教室

(2) 目的・目標

ゼロ初級レベルの会話・初中級の会話・識字を学ぶ 3 種類のクラスを設置し、「生活者としての外国人」のための日本語教育の標準的なカリキュラム案に即し、浜松という地域生活に密着した場面での円滑なコミュニケーションとトラブル対処のための日本語を教える。

(3) 対象者

浜松市及び近隣に住む外国人

(4) 開催時間数(回数) 58 時間 (全 29 回)

(5) 使用した教材・リソース

オリジナル教材(絵カード・ワークシート)・標準的カリキュラム案
参考書籍(にほんごこれだけ!・おしゃべりの種)

(6) 受講者の総数 202 人

(出身・国籍別内訳 ブラジル 29 人、ペルー 26 人、フィリピン 25 人 インドネシア 64 人、タイ 16 人、中国 16 人、アメリカ 4 人、イギリス 4 人、インド 6 人、マレーシア 1 人、ネパール 3 人、プエルトリコ 1 人、ベトナム 2 人、ロシア 1 人、香港 1 人、ナイジェリア 2 人、パラグアイ 2 人)

(7) 受講者の募集方法

チラシを設置(静岡県西部パレット・HICE)
メーリングリストにてメーリングリスト購読者に告知
U-Toc 文化祭にてポスター発表



同じ内容のひらがな版・英語版も作成

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要(番号はカリキュラム案に一致)	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
1	平成24年7月1日 10:00~12:00	2時間	静岡県西部 パレット	26人	ブラジル(6人)ペルー(4人)フィリピン(4人)インドネシア(3人)タイ(1人)中国(2人)アメリカ人(3人)イギリス人(1人)マレーシア人(1人)ブルートリコ人(1人)	自己紹介 トラブルに対応する人の性格 天気(梅雨) 風邪 レベル別の仮名	(3101080) 日常の挨拶をする (3102070) 私的な場面で自己紹介をする (3101130) 人間関係のきっかけを作る (3103150) 分からないと疑問に思ったとき信頼できる相手に質問する よく使われる性格を表現する語彙を理解し、使うことができる (4202090) 周囲の日本人に尋ねる 周囲の日本人と天気(雨)や体調について会話を	9名	数浪のぞみ・村島理恵・松浦圭子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・岡田文枝・長坂月子・後藤好弘・島田尚子			
2	平成24年7月8日 10:00~12:00	2時間	静岡県西部 パレット	32人	ブラジル(5人)ペルー(3人)フィリピン(4人)インドネシア(10人)タイ(1人)中国(3人)アメリカ人(2人)イギリス人(2人)マレーシア人(1人)ベトナム人(1人)	面接、自分の能力を伝える 日本で困ったこと レベル別の仮名	(2202170) 面接を受ける (2202180) 自己紹介をする (2202190) 勤機について述べる (2202200) 自己の能力・職歴を伝える (3103150) 分からないと疑問に思ったとき信頼できる相手に質問する	8名	数浪のぞみ・松浦圭子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・塩野昌治・米沢紀子・後藤好弘・島田尚子	1名	牛草美由樹	
3	平成24年7月22日 10:00~12:00	2時間	静岡県西部 パレット	33人	ブラジル(2人)ペルー(4人)フィリピン(3人)インドネシア(12人)タイ(2人)中国(3人)アメリカ人(4人)イギリス人(2人)ベトナム人(1人)	冬休みの予定 遠足の計画をたてる(バス・電車を利用する) 忘れ物を取りに行く お中元を贈る、受け取る 暑中見舞いを書く	(4401070) 適当な人からアドバイスをもらう (1002060) 目的地への行き方を尋ねる (1001020) 発車する時刻や掛かる時間を探ねる係員に忘れ物を伝えることができる。 (3201090) 日本の習慣や作法などを学ぶ (3201030) 日本の文化と自国の文化を比較する (3201040) 日本文化への対応を図る (4501100) 手紙を書いて送る	9名	数浪のぞみ・村島理恵・大野知子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・塩野昌治・長坂月子・後藤好弘・島田尚子	0名		
4	平成24年7月29日 10:00~12:00	2時間	静岡県西部 パレット	36人	ブラジル(6人)ペルー(6人)フィリピン(5人)インドネシア(7人)タイ(1人)中国(4人)アメリカ人(2人)イギリス人(1人)マレーシア人(1人)ネパール人(1人)ブルートリコ人(1人)ベトナム人(1人)	落とし物を見つけたら 熱中症に注意 事故を目撃する 夏休みの過ごし方、将来の目標、夢 レベル別の仮名	(3402030) マナーについて人に相談する (3402080) 隣人に聞く (0301090) 流行性の病気についての情報を理解し適切に対応する (0404030) 119番し状況を伝える 目撃した事故の状況が説明できる (4801090) テレビやラジオでニュースや天気予報を見聞きする (4801100) ニュースや天気予報を読む	8名	数浪のぞみ・大野知子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・岡田文枝・長坂月子・後藤好弘・島田尚子	2名	牛草美由樹・村島理恵	

5	平成24年8月19日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	25人	ブラジル(3人)ペルー (6人)フィリピン(5人) インドネシア(6人)タイ (1人)中国(1人)マ レーシア人(1人)プエル トリコ人(1人)ベトナム 人(1人)	道に迷った！ 事故を見た ゲリラ豪雨 レベル別の仮名	(1002060)目的地への生き方を尋ねる (1204040)目的地までの道を尋ねる (1204110)交通を利用する (0404020)救急車を要請する (0404070)近くの人に知らせる	8名	敷浪のぞみ・村島 理恵・大野知子・ 加藤庸子・岩瀬ひ ろみ・塩野昌治・ 長坂月子・島田 尚子	0名		
6	平成24年8月26日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	28人	ブラジル(2人)ペルー (3人)フィリピン(5人) インドネシア(10人)中 国(2人)アメリカ人(2 人)イギリス人(1人)マ レーシア人(1人)プエル トリコ人(1人)ベトナム 人(1人)	おみやげ 夏休みの思い出 近くの人に(火事・事 故)を知らせる。 節電に協力する 公共料金 レベル別の仮名	(3103070)物をあげる・もらう (4402080)同僚や周囲の人からの口コミ情報を 得る (0504050)火災・救急や警察に電話してもらう。 (0504070)状況を伝えることができる。 (0504020)消火器・火災報知機について知る。 (3401130)質問する 家庭で節電するための情報交換ができる。ほか の人から情報を得ることができる。	7名	敷浪のぞみ・松浦 圭子・加藤庸子・ 岩瀬ひろみ・岡田 文枝・長坂月子・ 島田尚子	2名	牛草美由樹・村島 理恵	
7	平成24年9月2日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	38人	ブラジル(5人)ペルー (5人)フィリピン(5人) インドネシア(11人)タ イ(1人)中国(3人)アメ リカ人(2人)イギリス人 (2人)マレーシア人(1 人)ネパール人(1人)プ エルトリコ人(1人)ベ トナム人(1人)	家具選び 旅行のアドバイス 予定の変更 レベル別の仮名	(0801240)必要なものを選んで購入する (0801250)支払う (0801200)色違いのものを頼む (4402080)同僚や周囲の人からの口コミ情報を 得る 以前話し合った予定が変わったことを伝えられる (3003050)誘いを受ける・断る(職場)	7名	敷浪のぞみ・松浦 圭子・加藤庸子・ 岩瀬ひろみ・岡田 文枝・長坂月子・ 島田尚子	2名	牛草美由樹・村島 理恵	
8	平成24年9月9日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	44人	ブラジル(6人)ペルー (9人)フィリピン(6人) インドネシア(10人)タ イ(2人)中国(2人)アメ リカ人(2人)イギリス人 (3人)マレーシア人(1 人)ネパール人(1人)プ エルトリコ人(1人)ベ トナム人(1人)	フリーマーケット 地震に備える 避難訓練をする 券売機を利用する 間違いない電話をする 出前注文(時間を指 定する)をする レベル別の仮名	(0801130)値段を知る (0502010)地震について理解する (0502020)身を守る (1004060)券売機の使い方が分かる。使い方を聞 くことができる。券売機の文字が読める。 (4701190)間違い電話をした時に対処する (4701140)電話の開始、終わりの定型的な表現 出前のメニューを見て頼むことができる。自分の 住所をわかりやすく言う。	8名	敷浪のぞみ・村島 理恵・松浦圭子・ 加藤庸子・岩瀬ひ ろみ・岡田文枝・ 長坂月子・島田 尚子	0名		

9	平成24年9月23日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	26人	ブラジル(5人)ペルー (8人)フィリピン(4人) インドネシア(5人)タイ (1人)中国(1人)イギリ ス人(2人)	・どろぼう！ ひったくりにあう 上司に質問する おみやげ レベル別の仮名	(0403040)近くの人に連絡する (0403050)近隣に助けを求める (0403020)110番に電話する (3103150)分からないと疑問に思ったとき信頼で きる相手に質問する 話を切り出す 適切な敬語表現	7名	敷浪のぞみ・加藤 庸子・岩瀬ひろ み・塩野昌治・長 坂月子・島田尚 子・村上久子	1名	牛草美由樹	
10	平成24年9月30日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	40人	ブラジル(6人)ペルー (6人)フィリピン(5人) インドネシア(13人)タ イ(3人)中国(1人)アメ リカ人(2人)イギリス人 (1人)インド人(2人)プ エルトリコ人(1人)	(0503010)台風につ いて理解する 電化製品の修理 レベル別の仮名	(0503010)台風について理解する 見積もりのために製品をあずける。 見積もりに関する電話に出る。	8名	敷浪のぞみ・村島 理恵・加藤庸子・ 岩瀬ひろみ・塩野 昌治・島田尚子・ 村上久子・花井 典子	0名		
11	平成24年10月7日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	56人	ブラジル(10人)ペルー (9人)フィリピン(10人) インドネシア(17人)タ イ(3人)中国(1人)アメ リカ人(2人)マレーシア 人(1人)ネパール人(1 人)プエルトリコ人(1人) ベトナム人(1人)	洋服を買う 試着する サイズを確認する 美容院、理容院へ行 き、自分の希望を伝 える レベル別の仮名	(0801190)試着を申し出る (0801200)色違いのものを頼む (0801220)サイズの変更を申し出る (0803110)美容院、理容店を利用する 自分の希望を申し出て、説明することができる。	8名	敷浪のぞみ・村島 理恵・松浦圭子・ 加藤庸子・岩瀬ひ ろみ・塩野昌治・ 長坂月子・島田 尚子	0名		
12	平成24年10月14日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	56人	ブラジル(9人)ペルー (10人)フィリピン(7人) インドネシア(12人)タ イ(5人)中国(3人)アメ リカ人(2人)イギリス人 (2人)インド人(4人)マ レーシア人(1人)プエル トリコ人(1人)	注文・修理依頼をす る 自治会の会員になる お土産をもらった、仕 事を手伝ってもらった 場合、後日改めてお 礼を言う レベル別の仮名	(0801260)返品・交換をする (3501040)居住地の自治会について隣人に尋ね る (3501050)自治会の会員になる (3501100)行事に参加する (3002010)対人配慮の言語習慣を理解する (3002060)適切な謝意を言葉で言い表す 感謝のタイミングと表現を理解し、使うことができ る	7名	敷浪のぞみ・村島 理恵・村上久子・ 加藤庸子・塩野 昌治・長坂月子・ 島田尚子	0名		

13	平成24年10月21日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	53人	ブラジル(9人)ペルー(7人)フィリピン(10人)インドネシア(14人)タイ(6人)中国(2人)アメリカ人(2人)インド人(2人)マレーシア人(1人)	日常の言い方 社会問題について理解する(ゲーム、ネット、携帯) レベル別の仮名	(3101020)TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する (4302090)自分や周囲の人の体験から理解する。ゲーム、携帯依存について、自分の体験、考えを話し、意見交換ができる。	8名	敷浪のぞみ・村島理恵・松浦圭子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・岡田文枝・長坂月子・島田尚子	0名		
14	平成24年10月28日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	53人	ブラジル(12人)ペルー(7人)フィリピン(8人)インドネシア(13人)タイ(6人)中国(2人)アメリカ人(1人)インド人(2人)マレーシア人(1人)ロシア人(1人)	買い物アドバイス 結婚・葬式・引越し・会社のあいさつ レベル別の仮名	(4402080)同僚や周囲の人からのロコミ情報を得る (3101030)時宜にあった挨拶を学んで実行する。 (3101060)相手に合わせた挨拶をする。 (3101080)日常のあいさつをする	8名	敷浪のぞみ・村島理恵・村上久子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・岡田文枝・長坂月子・島田尚子	0名		
15	平成24年11月4日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	50人	ブラジル(9人)ペルー(7人)フィリピン(6人)インドネシア(16人)タイ(3人)中国(1人)アメリカ人(2人)インド人(3人)マレーシア人(1人)プエルトリコ人(1人)ベトナム人(1人)	丁寧に依頼する 会社の人に頼む レストランを利用する やってみたい習い事(文化の日) レベル別の仮名	(3002010)礼儀、マナー、心遣いなどの対応の言葉 習慣を理解する (0802020)店ごとに受けられるサービスと代価を理解する。 (0802100)メニュー情報を理解する。 (0802120)メニューを選んで注文することができる。 (4402080)周囲の人からロコミ情報を得る。 (4401020)広告やポスターから情報を得る 日本で習ってみたいことを意見交換し、電話で各教室の見学申し込みができる。日本文化について意見交換ができる。	8名	敷浪のぞみ・村島理恵・松浦圭子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・岡田文枝・長坂月子・島田尚子	2名	橋本貞美・堀田志寿子	
16	平成24年11月11日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民 協働センター	42人	ブラジル(7人)ペルー(6人)フィリピン(6人)インドネシア(9人)タイ(6人)中国(2人)アメリカ人(2人)インド人(1人)マレーシア人(1人)プエルトリコ人(1人)ロシア人(1人)	コンビニを利用する。 通行人に目的地への行き方を尋ねる レベル別の仮名	(0803100)コンビニのサービス(公共料金の支払い、ATM)を利用することができる。 (1204040)目的地までの道を尋ねる (1204050)通行人に聞く 丁寧に表現で尋ねることができる。	7名	敷浪のぞみ・村島理恵・松浦圭子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・岡田文枝・長坂月子	2名	橋本貞美・堀田志寿子	
17	平成24年11月18日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	37人	ブラジル(8人)ペルー(2人)フィリピン(8人)インドネシア(10人)タイ(4人)中国(1人)インド人(2人)プエルトリコ人(1人)ロシア人(1人)	交通標識を理解する。 道を聞く。 手紙を書いて送る 年賀状を書く 野外活動(学習場所を探す) レベル別の仮名	(1203020)歩行者として必要な標識を理解する。 (1203060)交通標識に従って歩く。 (1204060)(0801080)店で売り場尋ねることができる。説明を理解する。 (4501100)手紙や葉書を書いて送る (1201030)住所表示、交差点名、街の案内地図などを読む。 (1202030)地図上で目的地を確認する (2103030)目的地の方向や距離を確認する	8名	敷浪のぞみ・村島理恵・村上久子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・塩野昌治・長坂月子・島田尚子	1名	橋本貞美	
18	平成24年11月25日 10:00～12:00	2時間	浜松市市民 協働センター	43人	ブラジル(6人)ペルー(3人)フィリピン(8人)インドネシア(15人)タイ(4人)中国(1人)アメリカ人(1人)インド人(2人)マレーシア人(1人)プエルトリコ人(1人)ロシア人(1人)	美容院を利用する 再配達 レベル別の仮名	(0803010)店ごとに受けられるサービスと代価を理解する。 (0803040)通行人に聞いて店舗を探す。 (0803110)美容院のサービスを理解する。希望をいうことができる。 再配達票を理解し(必要な情報を探し)、再配達依頼をする	8名	敷浪のぞみ・村島理恵・村上久子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・塩野昌治・長坂月子・堀田志寿子	1名	橋本貞美	
19	平成24年12月2日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	33人	ブラジル(7人)ペルー(7人)フィリピン(8人)インドネシア(5人)中国(1人)アメリカ人(1人)インド人(2人)マレーシア人(1人)プエルトリコ人(1人)	休みの計画を話す 幹事役で忘年会の計画、予約をする レベル別の仮名	(4401070)計画を伝えることができる。適当な人からアドバイスをもらう。 0802040電話で予約する 0802020店ごとに受けられるサービスと代価を理解する 0802030希望の食べ物を扱う店を探す	8名	村島理恵・松浦圭子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・塩野昌治・花井典子・島田尚子・堀田志寿子	0名		
20	平成24年12月9日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	47人	ブラジル(8人)ペルー(7人)フィリピン(7人)インドネシア(12人)タイ(4人)中国(1人)アメリカ人(3人)インド人(2人)マレーシア人(1人)プエルトリコ人(1人)ベトナム人(1人)	上手に断る 丁寧に断る 京都へ行く 郵便局・年賀状を知る レベル別の仮名	(3101060)相手に合わせたあいさつをする (3101020)TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する (1001020)発車する時刻やかかる時間を尋ねる。 (1002060)目的地への行き方を尋ねる。 (1004060)券売機を利用する。 (1003010)駅名や停留所名を理解する (4501100)手紙やはがきを書いて送る (4501120)不在配達通知に対応する。	9名	敷浪のぞみ・村島理恵・村上久子・加藤庸子・岩瀬ひろみ・岡田文枝・長坂月子・島田尚子・堀田志寿子	1名	橋本貞美	

21	平成25年1月13日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	51人	ブラジル(8人)ペルー (5人)フィリピン(10人) インドネシア(18人)タイ (2人)中国(5人)アメリ カ人(2人)ロシア人(1 人)	お正月の過ごし方 切符の払い戻し レベル別の仮名	(3201040)自分の文化を説明する 電車・新幹線に関する語彙を使う 切符に関するトラブルに対処する	8名	敷浪のぞみ・村上 久子・加藤庸子・ 岩瀬ひろみ・岡田 文枝・長坂月子・ 島田尚子・堀田 志寿子	1名	橋本貞美	
22	平成25年1月20日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	54人	ブラジル(7人)ペルー (5人)フィリピン(9人) インドネシア(24人)タイ (6人)中国(1人)アメリ カ人(1人)ベトナム人 (1人)	料理について話す 荷物を送る。受け取る。 レベル別の仮名	・料理の本を見ながら作り方について話す ・配達人とのやり取りが出来る。 ・送り主の名前を確認できる。	7名	敷浪のぞみ・松浦 圭子・加藤庸子・ 岩瀬ひろみ・長坂 月子・島田尚子・ 堀田志寿子	2名	橋本貞美・牛苧美 由樹	
23	平成25年1月27日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	54人	ブラジル(7人)ペルー (5人)フィリピン(11人) インドネシア(19人)タイ (2人)中国(3人)アメリ カ人(2人)マレーシア 人(1人)プエルトリコ人 (1人)ベトナム人(1人) ロシア人(1人)香港人 (1人)	日本語の勉強法 効率の良い学習の仕 方 レベル別の仮名	(4202100)学習の方法を身に付ける (4202200)日常生活での学習方法を適当な人に 尋ねる	9名	敷浪のぞみ・村島 理恵・松浦圭子・ 加藤庸子・岩瀬ひ ろみ・塩野昌治・ 長坂月子・島田 尚子・堀田志寿 子	1名	橋本貞美	
24	平成25年2月3日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	54人	ブラジル(11人)ペルー (8人)フィリピン(13人) インドネシア(11人)タイ (1人)中国(3人)アメリ カ人(1人)ネパール 人(1人)プエルトリコ 人(1人)ロシア人(1人)香 港人(1人)ナイジェリア 人(2名)	風邪の予防 インフルエンザの予 防 具合の悪い人へのア ドバイス 誕生日プレゼント。 レベル別の仮名	(0301090)流行性の病気についての情報を理解 し適切に対応する (3103070)授受表現ができる。	9名	敷浪のぞみ・村島 理恵・松浦圭子・ 岩瀬ひろみ・岡田 文枝・長坂月子・ 島田尚子・堀田 志寿子・米山敬 子	1名	橋本貞美	
25	平成25年2月10日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	62人	ブラジル(8人)ペルー (7人)フィリピン(12人) インドネシア(20人)タイ (4人)中国(3人)アメリ カ人(2人)ネパール 人(1人)プエルトリコ 人(2人)ベトナム人(1人) ロシア人(1人)香港人 (1人)	天気予報を見る 今までの仕事 履歴書を書く レベル別の仮名	(4801100)天気予報を理解することができる。 (2202190 / 2202200) 自身の経歴・職歴について話す (2202130)履歴書・面接の基本的な知識を身に つける	7名	敷浪のぞみ・松浦 圭子・加藤庸子・ 岩瀬ひろみ・岡田 文枝・長坂月子・ 堀田志寿子・	1名	橋本貞美	
26	平成25年2月17日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	56人	ブラジル(10人)ペルー (4人)フィリピン(9人) インドネシア(18人)タイ (6人)中国(3人)アメリ カ人(1人)インド人(1人) ネパール人(1人)プエ ルトリコ人(3人)	ゴミの出し方 広告から品物の情報 を得る 寒いときは レベル別の仮名 【静岡県多文化共生 化 防災啓発講座】	(3401040)居住地域のゴミ出しについて地域の公 的機関で発行している生活情報パンフレット等で 確認し理解する 広告から品物の情報を得る。 インフルエンザや風邪の予防について理解する	9名	敷浪のぞみ・村島 理恵・村上久子・ 米山敬子・岩瀬ひ ろみ・塩野昌治・ 長坂月子・島田 尚子・堀田志寿 子	1名	橋本貞美	
27	平成25年2月24日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	46人	ブラジル(6人)ペルー (7人)フィリピン(11 人)インドネシア(11 人)タイ(5人)中国(3 人)ロシア人(1人)香港 人(1人)ナイジェリア 人(1人)	カゼをひきました トラブルに対応する レベル別の仮名	(0101020)症状に合わせて適切な病院、医院を 探す (0101030)電話帳、看板、口コミ等の情報から適 切な医療機関を選ぶ (0101090)予約を申し込む 家で起きたトラブルを説明し、助けを求める。	8名	敷浪のぞみ・村 上久子・加藤庸 子・岩瀬ひろみ・ 塩野昌治・花井 典子・島田尚子・ 堀田志寿子	2名	橋本貞美・牛苧美 由樹	
28	平成25年3月3日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	55人	ブラジル(10人)ペルー (6人)フィリピン(13人) インドネシア(12人)タイ (6人)中国(2人)プ エルトリコ人(1人)ロシ ア人(1人)香港人(1人) ナイジェリア人(2人)パ ラグアイ人(1人)	お店を探す 学校 レベル別の仮名	(0801020)必要な品物を扱う店等を探す (0801040)販売しているところを探す (0801060)店内の表示を見たり店員に尋ねてほ しい者の場所を探す (0801080)売り場を尋ねる おたがいの国の学校や教育の制度について話す	9名	敷浪のぞみ・村 島理恵・松浦圭 子・岩瀬ひろみ・ 塩野昌治・長坂 月子・島田尚子・ 堀田志寿子・米 山敬子	1名	橋本貞美	
29	平成25年3月10日 10:00～12:00	2時間	静岡県西部 パレット	62人	ブラジル(11人)ペルー (4人)フィリピン(9人) インドネシア(23人)タイ (5人)中国(3人)アメリ カ人(1人)インド人(2 人)ネパール人(1人)ベ トナム人(1人)ロシア人 (1人)パラグアイ人(1 人)	自分の一年の学習を 振り返る 私の日本語は レベル別の仮名	(4202130)学習成果を自己評価する (4202140)評価をフィードバックする (4002050 / 4001010) 学習の進捗状況を評価する 自らの目標を考える	8名	敷浪のぞみ・松 浦圭子・加藤庸 子・岩瀬ひろみ・ 岡田文枝・長坂 月子・島田尚子・ 堀田志寿子	2名	橋本貞美・牛苧美 由樹	

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

①9月30日(入門クラス)

テーマ:(1202030)地図上で目的地を確認できる。

1. オープニング:新人3人の自己紹介やお互いの質問をし合う。
2. にほんごこれだけ10「わたしのうち」で、家の近くにあるもの、家の近くにほし
いものについて話してもらう。この時、店や施設の名前を入れる。(郵便局、銀行、
コンビニ、信号、交差点などをカードで名前当てゲーム)
3. 地図シートで地図上を歩いてもらう。移動の言葉を入れる。「二つ目の角、曲がる、
北・南、まっすぐ、右・左…」
4. 発話練習1:プリントを使って、「人を呼び止める、道を聞く、説明を理解する、
お礼を言う」のパターンを基本練習する。S-T、S-Sで
5. 発話練習2:プリントを使って、上記に道を聞いて確認する「～ですね」を加える。
基本練習をプリントで発話練習する。

②9月2日(初中級会話クラス)

テーマ:(3002010)対人配慮の言語習慣を理解する/(3002060)適切な謝意を言葉で言い
表す/感謝のタイミングと表現を理解し、使うことができる

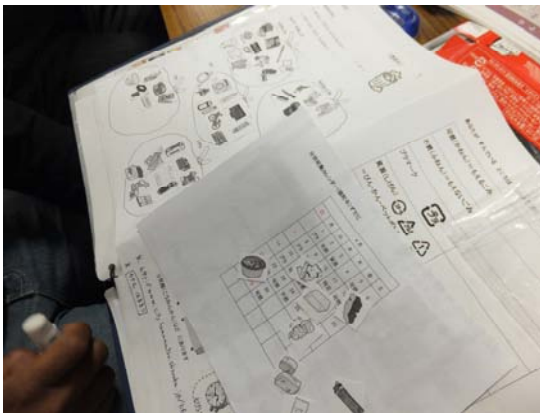
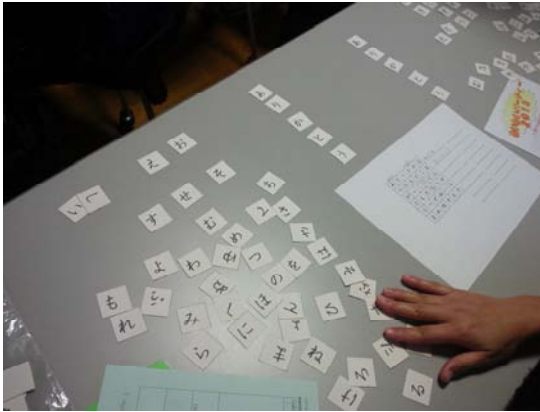
1. W-u p 会話:フィリピンの地震、日本への津波について。それぞれ、ジンキー
さんのご家族の安否を尋ねる。防災の日について。
2. トピック「お礼」:会社で物をもらった、仕事を手伝ってもらったときに何という
か。意見交換後、丁寧にお礼を言う表現を紹介「～ていただき、ありがとうございます」他、「恐れ入ります」など紹介
3. 謝意を伝えるタイミング ①物、行為を受けた時 ②翌日など、次に会ったとき。
表現「先日は～、この前は～」
4. 談話練習 ①部長さんにお土産をもらった ②早く帰りたいので会社の日本人に
仕事を手伝ってもらう。※頼みごとの時は、「用事」で片づけず、早く帰る理由も
言う。
※その時/後日、どちらもお礼がスムーズに言えるように練習。食べ物なら、「お
いしかったです」など、「ありがとう」だけの短文で終わらないように工夫して話
す。
5. 読解 「お礼を言う」:おかげさまで、たすかりました、など 表現確認
6. まとめ

③3月3日(中級クラス)

テーマ:見積りのために製品をあずける (08 物品購入・サービスを利用する)

1. 先週とは違うメンバー、違う見学者だった為、改めて自己紹介する。
2. 以前取り上げた「修理」のトピックの応用編を取り扱う。ウォームアップとして、
電化製品店に持っていき「こちらで買ったんですが」「壊れちゃったみたいなんで
すけど」等と言うのはとてもよく定着していて口々に出てきた。
3. Tが店員役となって対応する発話の中に「見積もり」について言及。
4. どんな時に「見積もり」が行われるかなどを確認して理解を深める。「古い携帯を
売る時、家を建てる時」などが出た。
5. 新しい言葉を使ってロールプレイ練習を行う。「どのくらいかかるか」「保証は効く
か」など自分たちでバリエーションも考えてアレンジを加えながら練習。その後発
表。

6. 今日のモデルは保証期間内の会話だったが、学習者からは保証が終わった場合はどのような会話になるのか質問があったので、全員で考える。



(10) 目標の達成状況・成果

- ・ かなクラスから会話クラスへという流れが定着し、学習者もそれぞれのレベルで、思い思いに学習を楽しんでいる。クラスの種類やレベル分けは適切だったと思われる。
- ・ 学習者のニーズをつかみ、『カリキュラム案』を参考にして、地域に密着した様々な場面やトピックによる教室活動を工夫した結果、学習者の日本語力は、ゆっくりではあるが着実に伸びていることが見て取れる。日本語力の伸長を実感し、日本語能力試験に挑戦した学習者もいる。彼らが合格を果たしたことで、学習者間にも互いに称賛し合い、高め合おうとする機運も感じられるようになってきた。
- ・ 毎回の教室活動の後、設定した場面やトピックは学習者のニーズに合致したものであったか、目標とするやり取りや表現、語彙が使えるようになったかの確認を積み上げた。その結果、どの回も概ね目標は達成できており、全体的に見ても、目標とした「浜松という地域生活に密着した場面での円滑なコミュニケーションとトラブル対処のための日本語を教える」という目標は達成できたと考えられる。
- ・ 日本語指導者に対してのアンケートで「どのような時に学習者の成長を実感したか」という項目に対して、以下のような答えは、目標達成を裏付けるものである。
 - 「以前学習した言葉を使って話をしようとしたり、授業後に学習者同士で使っていたりするのを見た。」(入門レベル・初級レベル)
 - 「それまであまり話そうとしなかった学習者が、授業時に積極的に発話するようになった。」(初級レベル)
 - 「漢字に興味を持ち始め、積極的な姿勢になってきた。」(初級レベル)

「各学習者が職場で耳にした表現をメモしたり覚えたりして、指導者に意味を尋ねるようになった。」(中級レベル)

「既習事項を教師側が指摘しなくても、表現に取り入れていた。(中級レベル)」

「以前、別のトピックで出てきた表現を他の場面に応用することが出来た。(中級レベル)」

「7月1日のクラス開始から3月10日のクラス終了までに74人が受講し、23人が読み書きを基本的に達成し、会話クラスへ移行できた。(仮名クラス)」

- ・ さらに、終了後に取った学習者を対象としたアンケートでは、「クラスに来るようになって日本語が上手になったか」に対して、「とてもなった(20人)」「少しなった(31人)」「あまりなかった(5人)」「有効回答数56」という答えがあった。
- ・ 同じく学習者へのアンケートで「このクラスで勉強する日本語は役に立つか」に対して、「とても(41人)」「少し(15人)」「全然(1人)」「有効回答数56」と答えた。

(11) 改善点について

- ・ 「生活者としての外国人」が対象である以上、主催者側が出席を強要したり、家庭学習を課して学習効果を高めたりすることは不可能に近い。したがって、出席率を高め、学習した内容の定着を図るためには、様々な工夫が必要になる。今期から出席カードを取り入れ、学習者自ら、自分の出席状況を確認できるようにすることで、モチベーションの維持を図ったが、来期は、さらに、この出席カードに学習内容を振り返る欄を設け、学習内容の可視化を図り、自律学習へと導いていきたい。
- ・ 教科書を使わないため、ゴールが見えにくい。この教室に通うと何ができるようになるのか、ということを提示し、学習者のモチベーション維持につなげたい。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

地域のための日本語教育ワークショップ

(2) 目的・目標

多様な学習者のニーズに日本語教師はどう応えればよいのかを共通理解し、場面や話題を中心とした教室展開、これまでに学習した日本語表現を応用する力(文法的な応用力)を伸ばすための教室活動、効果的なワークシートの作成・活用ができるような教師を養成する。

(3) 対象者

本事業の教室設置・運営にかかわる教師

カリキュラム案を活用した教室運営に興味がある日本語指導者

(4) 開催時間数(回数) 18 時間 (全 6 回)

(5) 使用した教材・リソース

各講師のオリジナル教材

参考書籍(みんなの日本語・にほんごこれだけ!)

(6) 受講者の総数 36 人

(出身・国籍別内訳 日本 34人、フィリピン2人)

(7) 受講者の募集方法

主催者のホームページにチラシを掲載

主催者発行のメールマガジン(読者数約300)にて告知

チラシを設置(静岡県西部パレット・HICE)

チラシを HICE News に折り込み

U-Toc 文化祭にてチラシ配布

にほんこNPO平成24年度文化庁委託事業 浜松日本語支援これだけプロジェクト

地域のための!

日本語教育

ワークショップ

FREE 無料

「文法中心のテキストに頼らない日本語教授方法とは…?」「おしゃべりに終わらないコミュニケーション重視の日本語教育とは…?」「学習者のコミュニケーション力を伸ばすより良い方法は…?」などなど、地域の日本語教育の現場で湧き上がるさまざまな課題の解決法をワークショップ形式で考えていきませんか?日本語教育の現場や研究の第一線で活躍する先生方をお招きし、講義を聞いた後、小グループで話し合い、最後に全体で結論を共有します。

地域で日本語教育の現場にいるみなさま!

現場で湧き上がるさまざまな課題の解決法をワークショップ形式で一緒に考えていきませんか?

プログラムのスケジュール

時間	日	講師	内容
14:00-17:00 ZAIZA CITY 中央館 5 階	9/9 (日)	森 篤嗣 《帝塚山大学准教授》	地域の日本語教室への期待～外国人住民の社会参加を支えるための支援のあり方について～
14:00-17:00 市民協働センター 第3研修室	9/15 (土)	袴田 麻里 《静岡大学准教授》	学習者の生活に密着したワークシートを作るには
14:00-17:00 市民協働センター 第3研修室	10/21 (日)	松葉 優子 《浜松学院大学非常勤講師》	場面シラバスにおける指導のあり方～生活者のための日本語教育の提案①～
14:00-17:00 ZAIZA CITY 中央館 5 階	12/8 (土)	森 篤嗣 《帝塚山大学准教授》	話題シラバスにおける指導のあり方～生活者のための日本語教育の提案②～
14:00-17:00 ZAIZA CITY 中央館 5 階	1/20 (日)	森 篤嗣 《帝塚山大学准教授》	場面及び話題シラバスにおける応用力の伸ばし方～「もっと上手になりたい!」に応えるには～
14:00-17:00 ZAIZA CITY 中央館 5 階	2/16 (土)	松葉 優子 《浜松学院大学非常勤講師》	地域の教室のための日本語能力評価法～会話をどのように評価するか～

アクセス&注意事項

市民協働センター第3研修室

●所在地
浜松市中区中央1丁目13-3 2F

●鉄道
JR東海道線・新幹線:浜松駅から徒歩8分
遠州鉄道西食鳥線:遠州病院駅から徒歩2分

●注意事項
当施設には、専用駐車場がありません。
エムテッククリエート浜松東パーキング(旧市営東田町地下駐車場)等をご利用ください。

ZAIZA CITY 中央館 5 階

●所在地
静岡県浜松市中区鍛冶町15

●鉄道
JR浜松駅・遠鉄新浜松駅から徒歩5分

●バス
遠鉄バス「サザンシティ前」または「かじ町」「田町中央通り」「匠馬町」バス停下車
●浜松市循環街バス・くるる
西ループ「肴町」「鍛冶町」バス停下車徒歩1分
南ループ「中央通り」バス停下車徒歩1分

お問い合わせ・申し込み先
主催:特定非営利活動法人浜松日本語・日本文化研究会

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
1	平成24年9月9日 14:00～17:00	2時間	静岡県西部 パレット	16人	日本(16人)	地域の日本語教室への期待～外国人住民の社会参加を支えるための支援のあり方について～	・従来の日本語教育の現場と、今日地域の日本語教室で求められているものの違いを考える。 ・地域の日本語教室における日本語ボランティアの意義とその活動範囲を考える。 ・ワークショップで意見を交換する。	1名	森篤嗣			
2	平成24年9月15日 14:00～17:00	2時間	浜松市市民協働センター	15人	日本(13人)、フィリピン人(2)	学習者の生活に密着したワークシートを作るには	・ニーズ調査・レディネス調査の方法とその活用方法を紹介する。 ・目的別のワークシートを紹介し、ワークショップで特徴を考察する。	1名	袴田英里			
3	平成24年10月21日 14:00～17:00	2時間	浜松市市民協働センター	11人	日本(11人)	場面シラバスにおける指導のあり方～生活者のための日本語教育の提案①～	・生活者の日本語上達に有効な文法と場面を組み合わせた教授方法と考え方を紹介し、ワークショップでテーマを決めて教案を作成する。	1名	松葉優子			
4	平成24年12月8日 14:00～17:00	2時間	静岡県西部 パレット	14人	日本(14人)	話題シラバスにおける指導のあり方～生活者のための日本語教育の提案②～	・ワークショップで日本語の談話の特性と、地域社会で期待される日本語力の特徴を考察し、トピック中心の日本語教授方法を紹介する。	1名	森篤嗣			
5	平成25年1月20日 14:00～17:00	2時間	静岡県西部 パレット	9人	日本(9人)	場面及び話題シラバスにおける応用力の伸ばし方～「もっと上手になりたい！」に応えるには～	・ワークショップで参加者それぞれが考える「上手な日本語とは」を共有し、学習者のさまざまなニーズに応えるための方法を考察する。	1名	森篤嗣			
6	平成25年2月16日 14:00～17:00	2時間	静岡県西部 パレット	17人	日本(17人)	地域の教室のための日本語能力評価法～会話力をどのように評価するか～	・「ステップアップのための評価」としてOPIの考え方を紹介し、ワークショップでOPIの手法を使ったインタビューを実践することを通して、学習者のレベルを判断する質問の特性について考察する。	1名	松葉優子			

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

第2回 平成24年9月15日

「学習者の生活に密着したワークシートを作るには」

- ① ニーズ調査(学習者が何を／どんな日本語を勉強したいと思っているのか、学習者のゴールは何か、どのような技能を必要としているのか)について
- ・ 〈ワークショップ〉受講者それぞれの語学学習の経験を振り返る。外国語教育において「誰に教えるのか」「何を教えるのか」「どうやって教えるのか」「どこまで教えるのか」を把握する必要があることを確認。
 - ・ 学習者本人に尋ねる、学習者が関わる日本人に尋ねる、学習者が日本語を使う環境を実際に見に行く(目標言語調査)、などして調査する。
 - ・ (製造業の工場における技能実習生対象の日本語教育の例を紹介)仕事に関係がある語彙を増やそうと計画していたが、実際は現場の指示が聞きとることの方が重要視されていると分かった。
 - ・
- ② レディネス調査(学習者がどのような経験があるか、好みの勉強方法はあるか／何か、語学の勉強についてどう思っているのか、等)について
- ・ 語学の勉強以外にもどのようなことに興味があるかを知ること、教える学習者にとつ

てどのようなテーマや場面が分かりやすいかを考える上で役に立つ。

- ・ 学習環境(勉強にどのくらい時間がとれるのか、その言語を日常的に使用するのか、好みの勉強方法はあるか／何か、等)を知ることが出来ると理想的である。

③ ワークシートの特徴分析

- ・ ①②の点を汲んだワークシートの作成について考える。
- ・ 〈ワークショップ〉講師が以前使用したワークシートを見て、そのワークシートが対象としている学習者とその目的を分析する。
- ・ (初級対象の名詞修飾のワークシート)母語が異なる学習者全員で使い方を確認した後、それぞれの国について話してもらうように発展させていく。
- ・ (入門者対象の交通機関に関するワークシート)浜松のことを知らない学習者の生活情報交換(駅からどのくらいの時間／お金がかかる)として使う。他の町、自分の国の情報提供への発展も可。
- ・ (グラフを読み取って説明するワークシート)どのような表現を使わせるかによって、初級～中上級のクラス活動に利用可能。
- ・ (初級対象の地域の情報が載っているワークシート)地域の情報を知りたいときに尋ねたり、情報を提供したりする練習にする。
- ・ (入門者対象の穴あき地図のワークシート)実際にその場所を歩きながら、名前を書き込んでいく。言葉の音と、実物を結びつけることが目標。
- ・ 「いつこの表現を使うか」が分かりやすいワークシートを作ることが重要。



第6回 平成25年2月16日

「地域の教室のための日本語能力評価法～会話力をどのように評価するか～」

- ① 受講者の関わっている教室の状況を紹介し、共有する。
- ② 〈ワークショップ〉「評価は必要か。」「誰が誰を評価にするか。」を話し合う。
 - ・ 「学習者を適切なクラスに入れるための評価は必要ではないか。」「新しい学習者が来た時のレベルチェックに評価が有効ではないか。」
 - ・ 教師が学習者を評価するだけでなく、学習者自身による評価もある。
 - ・ 「良いか悪いか」を判断することだけが評価ではなく、勉強の軌跡として行う評価もある。
 - ・ 「モチベーション向上のための評価」
- ③ ACTFL-OPI の手法を紹介

- ④ 地域日本語教室で学ぶ学習者の発話の特徴
- ・ 発話に対して積極的。羅列文が多い。文になっていない発話が多い。聞き手に負担がかかる話し方をする学習者が多い。語彙が少ない。段落で話すことが出来ない。
- ⑤ OPIにおける「突き上げ」をクラスに生かす。
- ・ 学習者の持っているレベルより少し上のレベルを扱うことで、能力が伸びやすい。そのためには学習者の持っているレベルを判断することが不可欠である。
 - ・ 学習者の「出来ること」だけでなく「出来ないこと」がどの程度なのか判断する。
- ⑥ U-Toc(浜松市外国人学習支援センター)での活用例を紹介
- ・ 学習者の習得度を測るため、学習者にクラス分けを納得させるために有効である。
- ⑦ OPI のサンプルを聞く。
- ⑧ 〈ワークショップ〉受講者同士でインタビュー形式の質問をしあって、答えやすい質問と発展的な質問の分類を考える。
- ・ Yes/No 疑問文よりも Wh 疑問文(どんな…、何が…等)のほうが答えの自由度が高い分、正しく答えるには難度が高くなる。
 - ・ 共通点が無い学習者に対しても「傾聴する姿勢」を表すことで積極的な発話を引き出す。
 - ・ インタビューを受ける側の話しやすい話題のほうが、発話が引き出しやすい。
- ⑨ 〈ワークショップ〉トピックを一つ決め、学習者のレベルに合わせた質問を考える。
- ・ 初級対象に対する質問では「交通手段を聞く・好きな食べ物を聞く」、中級には「国のおすすめのことを聞く・」上級には「意見／目的を尋ねる」などが出る。
 - ・ テーマ「サッカー」で、初級→中級→上級の質問のモデルを示す。
- ⑩ 結果を学習者にフィードバックすることで、今の日本語力を伸ばす動機付けとする。
- ⑪ 生活者が自分の意見を言い、地域社会に参加できるようになることが重要。そのためには、今の日本語はまだ質の面で不足しているという「気づき」を学習者に与え、指導者にも学習者のレベルを明らかにして、指導に生かしていくことが大切である。
- ⑫ 浜松版評価システムの作成について進捗状況を紹介



(10) 目標の達成状況・成果

本事業に関わる日本語指導者の疑問・悩みに応えられるような講座とすべく、教室担当者には事前アンケートを実施し、その内容をそれぞれの講師に知らせるようにしたため、研修内容も、かなり希望を反映したものとなり、参加者も積極的に研修に参加する様子が見られた。

事前アンケートの内容を踏まえて講師と内容を話し合ったため、各研修後にとったアンケートでは、受講者の満足度の高い回答が多かった。当初の目標は概ね達成できたのではないかと考える。しかし、事業終了後に改めて実施したアンケートには、すべての講義内容が、即、教室での日本語教育に生かせるものではなかったとの声があったのも事実である。そのほかのコメントを以下に挙げる。

- ・ 文型重視より「楽しいおしゃべり」の必要性を知り、学習者との距離感をなくすことが出来た
- ・ 研修会は日本語教育を行う者の養成として参考になる数少ない機会なので、これからも実施して欲しい。
- ・ それぞれ有益でした。出来ればもう少し実地に使える内容がよかった。
- ・ 他のクラスの先生方との交流がふだんほとんどないので、グループワーク等で一緒にでき、いろいろなことがわかるのもよかったです。
- ・ 松葉先生の回は実際に指導されていることもあり、学習者や教室のさまざまな状況に応じた具体的な対応を学ぶことができてよかったと思います。
- ・ 日本語ボランティアという立場で接すればいいのか、日本語教師という立場がいいのか、当初はよく分からなかった。研修を受けることで、「教師であろうが、ボランティアであろうが日本人としての『母語直観』を大切にし、自分が普段使う日本語の使い方を外国人に紹介する、という気持ちで良い。」という講師の先生の言葉に納得。その後は、「教えなければ」ではなく、「自然な日本語」を紹介し学習者の方と一緒に練習することができるようになったので、大変役に立ったと思う。

(11) 改善点について

「教室活動に、即、生かせるものを」との声を踏まえ、より実践的、且つ日本語指導者の希望に沿ったテーマの設定や講師の選択をするようにする。また、適宜、グループワークを取り入れ、指導者自ら、自身の課題に気づき、課題を解決していく方法を見出す手助けをすることで、多様な学習者のニーズに応えられる指導者を育成したい。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 トピック・場面シラバス活用のためのワークシート案

(2) 対象 生活者としての外国人(初級～中級)

(3) 目的・目標

「いろいろな場面で、もっと日本語が話せるようになりたい」「習った表現を応用できるようになりたい」という学習者のニーズに応えるべく、カリキュラム案の内容をベースとし、浜松という地域に即した教材、発展させた教材を作成する。

(4) 構成

- ・ 各トピックを楽しく、効果的に学べるように、以下の構成で1セットとした。
- ① ワークシートを効果的に使用するための使い方説明書(クラスの導入から活動まで)
- ② ワークシート本体および記入例

(5) 使い方

「話す・聞く」といった教室活動の合い間や後に、ワークシートを使った「書く」活動を取り入れ、日本語の語彙や表現の定着を図る。

会話中心のクラスを後から振り返りやすい形で残す。

(6) 具体的な活用例

導入・会話などの「聞く・話す」活動の合間や最後にワークシートを使って、発話内容、メイン文型、新しい語彙の意味などを記入してもらう。

- ① 新しいトピックに入る際に、絵や写真を元に、ブレインストーミングするように自然な発話を引き出す。
- ② その語彙が使われる場面の会話を提示する。言語的挫折を体験することによって、場面・トピックと新しく学ぶことを強く結びつけ、定着を促す。
- ③ 確認としてメイン文型や語彙をワークシートに書き込む。

(7) 成果物の添付(別途添付)

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

浜松に暮らす外国人が日々の生活の中で出会う様々な場面で使われる日本語の学習機会を提供し、習得へと導くことによって、外国人が地域社会の一員として、安全で楽しく、充実した生活を送ることのできるように支援すること

- ① 教室設置・運営においては、「生活の中で使える日本語」を教え、日本での生活のために必要と思われる情報・知恵を提供する。また、地域において生活・就労しながら日本語を学ぶ学習者の交流の場を提供する。
- ② 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施においては、本事業に関わる日本語指導者を中心に、浜松地域と周辺で地域日本語教室に関わる日本語指導者のスキルアップの場を提供する。
- ③ 日本語教育のための学習教材の作成においては、地域の教室において会話を中心に据えた日本語教育を学習者にとって振り返りやすくするためのトピックごとのワークシートを作成する。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

普段の生活では会社の部署の中や、自国の知人など、限られた人間関係の中で生活している学習者が多い中で、教室に来て共に日本語を学習する中で人間関係を広げる学習者が多く見られた。これは地域社会で充実した生活を送るための第一歩である。「外国人が地域社会の一員として、安全で楽しく、充実した生活を送ることのできるように支援する」という事

業の目標は達成できたのではないと思う。

一例を挙げよう。あるクラスでは、授業外でも食事へ行くなど、学習者同士、盛んに交流している。また、あるクラスには、当初、遅刻しがちで、教室に来て、暗い顔をして座っていた学習者がいたが、教師やクラスメイトと交流しながら日本語を学習するうちに表情が明るくなり、遅刻もしないようになった。教室の終了後、一時帰国するクラスメイトに「プレゼント(お土産)お願いします」と冗談も言うようになった。高齢で職も無く、一人暮らしの定住者が増えつつあるが、この例を見ると、日本語指導者やクラスメイトと交流する中で、一人の人間としての尊厳を取り戻したのではないかと考えられる。日本語教室は、そんな学習者の交流の場としての機能も果たしていると言えよう。

<教室設置・運営について>

回を重ねるごとに参加する学習者の人数が増えた。浜松とその周辺の地域に住む外国人にとって、日曜日に日本語を学ぶことのできる教室は数少なく、大きな役割を果たしていると言えるのではないだろうか。

メールで毎週、各クラスの報告書を閲覧できるようにし、教師間で、反省点やクラス活動のヒントを共有したことにより、多様な学習者に対応するための「生活の中で使える日本語」の提供をすることができた。学習者へのアンケートでも、この教室は役に立ったというパーセンテージが高かった。

<日本語教育を行う人材の養成・研修>

現場経験が豊富な講師の先生方からお話を聞いたことで、教室の指導者に役立ったと思われる。支援者も6回の研修を生かし、『カリキュラム案』に沿った週1回の実践を通して、より「生活者としての外国人」に寄り添った教室活動が提供できるようになってきている。

ただし、ある講師は、「地域の日本語教育における指導者はボランティアでよい」という考えで、ボランティアを対象とした内容を強く打ち出した結果、本事業で想定している講師像と異なることもあり、受講者から「日本語教師養成講座を修了して、地域の教室で働く者はどのような立場になるのか？ボランティアの方々と同じような心構えでいいのか」「一口に日本語教育と言っても、いろいろな切り口があることが分かった」等、様々な反応があった。

<学習教材の作成>

地域の学習者の日本語学習に適した形のワークシート(場面に即している・語彙不足を写真・絵でカバーする)を作成することができた。一つのトピックでレベル別の内容にしたワークシートを作る予定だったが、人手・時間不足で予定より小規模となってしまった。

それぞれの教師がワークシートを作っても、著作権に配慮すると、共有できるものにするのは難しい。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

【本事業における活用法】

- ・ 各クラスで年間カリキュラムを立てる際、カリキュラム案を参考にして、目標を設定した(クラス分けの基準参考)。さらに、カリキュラム案のテーマの内容から、それぞれの設定目標に合わせて文型・語彙・表現を設定した。
- ・ テーマが同じでもレベルに合わせて、目標とする文型・語彙・表現を変えた。

- ・ 習得目標とするものは文型・語彙・表現ではなく、「生活上の行為の事例」を「～できる」という形で捉えたものとした。
- ・ 日本で生活していく上での最低限度の必要項目を確認した。
- ・ カリキュラム案の場面設定、教材例での活動シートやイラスト、会話例などをアレンジして使った。

【気づいた点】

- ・ 来日して間もない生活者を対象としているトピックが多く、長期で日本で生活している生活者には既知のことが多い。浜松のように定住 10 年目や、働きながら生活している学習者に向けた内容の充実が望まれる。具体的には、今後も日本で暮らしていこうとする生活者に必要とされる「自分を表現する力」「説明する力」「意見を言う力」等の取得には今ある内容に加えて、発展的な内容の追加がほしい。本事業で、クラスごとのカリキュラムを立てる際には、カリキュラム案に無い内容を加えた。
- ・ 初級学習者には、大変わかりやすく指導案が示してあるが、中上級向けとしては、どのように活用すればいいのかわかしく感じた。
- ・ 生活上の行為の分類では、仕事・教育は緊急性がないものとされているが、生活者の中には子育ての情報、仕事の情報がなくて困っている人も多くいる。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

- ・ 平成 24 年 8 月 5 日に、浜松市国際交流協会(HICE)との共催でスピーチコンテストを開催した。本事業が始まって間もない時期だったが、継続して受講している学習者にとっては、普段の日常会話とは違った、改まった日本語のスピーチを披露する機会となった。ゲームなどの交流会も合わせて行い、学習者と日本人との交流の場となった。「来年は是非自分も出たい」という声も聞かれて、さらなる学習への動機付けができた。
- ・ U-Toc(浜松市外国人支援センター)において本事業の教室運営についてポスター発表を行った。(平成 24 年 11 月 23 日)発表を通して志を同じくする皆さんとの交流ができ、事業を継続していく上でも参考になった。
- ・ ポスター発表の際に本事業について知った他団体の会員が、第 3 回、第 6 回の研修会に参加した。



平成 24 年 11 月 23 日 U-Toc にて

- ・ 事業実施期間を通して静岡県西部パレットと密接に連携し、日本語教室を開催した。浜松駅から徒歩 3 分ほどの場所にある当施設は、アクセスしやすいだけでなく、「パレット」という外国人にも覚えやすい名前が、多くの学習者の教室への継続的参加につながったと思う

れる。

- ・ 平成 24 年 12 月 16 日には、西部パレットとの共催で「わいわいパーティー」を開催した。来場者は学習者とその家族・知人、指導者の家族・知人など、100 人を超す規模のものとなった。普段、一緒に勉強しているクラスメートと交流するだけでなく、他クラスの学習者や指導者との交流も盛んに行うことができ、勉強が実際のコミュニケーションに生かされる場となった。



平成 24 年 12 月 16 日 わいわいパーティーにて

- ・ 今後も、「生きた日本語」が本当に使われるような交流の場を作り、日本語が出来るようになるだけでなく、少しでも日本での生活を豊かにできるきっかけを提供していきたい。

(5) 改善点, 今後の課題について

選定した教科書に沿って授業を進めて行けばよい学校とは異なり、クラスごとの年間カリキュラムをたて、週に 1 度とはいえ、教案を書いて、学習教材を作り、授業を行うというのは、専門知識のある教師にとっても、かなり負担が大きい。学習者の日本語習熟レベル、日本語を学ぶ目的、めざしている日本語、興味関心が多様である地域密着型の日本語教室である以上、クラスごとに個別のカリキュラムを作る必然性はあるが、負担を軽減するための何らかの方策が欲しい。まず、作成した教材を共有する仕組みを作っていく必要があるが、著作権の問題で公にできないものも多く、多くの優れた教材が埋もれているのは残念だ。

「日本語教育を行う人材の養成・研修」においては、研修に参加した皆さんの反応やアンケートから、時代の半歩先を行くような提案が求められていることが分かる。「生活者としての外国人」への日本語教育に関心を持っている、より多くの皆さんに参加してもらうためには、今後の「生活者としての外国人」の動向を見極め、今後の日本語教師にさらに必要となる知識やスキルを提供していこうと思うが、講師の選定が難しい。

(6) その他参考資料

- ① クラス分けの基準モデル(PDF で別途添付)
- ② 出席票カード(PDF で別途添付)
- ③ 研修会事後アンケート
- ④ 事業後学習者アンケート
- ⑤ 事業後講師アンケート

参考資料③ 研修会事後アンケート

平成 24 年度文化庁委託事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラム にほんご NPO 浜松日本語学習支援これだけプロジェクト

地域のための日本語教育ワークショップ 第 回

本日は、にほんご NPO「地域のための日本語教育ワークショップ」にご参加いただきありがとうございます。

今回のワークショップに関する皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

1. 本日の講義はいかがでしたか。

☐非常に参考になった

☐あまり参考にならなかった

☐参考になった

☐参考にならなかった

☐その他（

）

2. 本日のワークショップはいかがでしたか。

☐非常に参考になった

☐あまり参考にならなかった

☐参考になった

☐参考にならなかった

☐その他（

）

3. またこのようなテーマの企画があれば参加したいと思いますか。

☐はい 理由：講義が役に立つ・ワークショップが役に立つ・

その他（

）

☐いいえ 理由：時間帯が不便・場所が不便・

その他（

）

☐どちらともいえない

4. 今回のワークショップについてはどのように知りましたか。

☐知人から（

）

☐HICE News ☐ザザシティのチラシ

☐その他（

）

5. その他ご意見・ご感想などを自由にお書きください

（

）

差支えなければ以下の質問にもお答えください

1. 現在、日本語教育に携わっていますか。

☐はい（

）

☐いいえ

☐日本語教育に関わっていきたい又は予定がある。

2. 会員以外の方で、今後、にほんご NPO からの情報の送付をご希望の方は連絡先をお書きください。

お名前（

）

メールアドレス（

）

ご協力ありがとうございました。

H24 文化庁事業 講師アンケート

<u>日本語教室の設置・運営</u> (参考) 申請書に載せた「事業内容」および「目的」 事業内容：ゼロ初級レベルの会話・初中級の会話・識字を学ぶ3種類のクラスを設置し、「生活者としての外国人」のための日本語教育の標準的なカリキュラム案に即し、浜松という地域生活に密着した場面での円滑なコミュニケーションとトラブル対処のための日本語を教える。 目的：日本語学習者が今持っている日本語能力をそれぞれのレベルにおいて高める。
1. クラスで目標としたことはなんですか。
2. クラス目標の達成のために、工夫・注意したことはなんですか。
3. クラス目標がどの程度達成されたと思いますか。 また、目標達成の程度をどのように検証しましたか。
4. 今回の日曜日パレット教室は浜松という地域の実情に適した内容だったと思いますか。
5. 今後の課題はどのようなことがありますか。

6. その他教室運営に関するご意見・ご感想・ご指摘等がありましたら、お願いします。 担当クラス以外について、または運営・管理・告知など全体的なことに関するご意見等はこちらにお願いします。
日本語教育を行う人材の養成・研修の実施 (参考) 事業内容: 多様な学習者のニーズに日本語教師はどう応えればよいのかを共通理解し、場面や話題を中心とした教室展開、これまでに学習した日本語表現を応用する力(文法的な応用力)を伸ばすための教室活動、効果的なワークシートの作成方法などをワークショップ形式で考える。 目標: 日本語学習者のさまざまなニーズに応えられる教育内容を実施できるような教師を養成する。
7. 研修会で学んだ内容はどのようにクラスでの日本語教育に役立ちましたか。
7. 講師の選定・開催時期・時間帯・場所・方法研修会全体に対する感想・ご意見をお書きください。 運営・告知などに関するご意見等はこちらにお願いします。
日本語教育のための学習教材の作成 (参考) 事業内容: 「いろいろな場面で、もっと日本語が話せるようになりたい」「習った表現を応用できるようになりたい」という学習者のニーズに応えるべく、カリキュラム案の内容をベースとし、浜松という地域に即した教材、発展させた教材を作成する。 目標: 場面・話題シラバスの良さと文法的応用の両面を備えたワークシートを作成し、実際に教室で使用する。

9. ワークシートを効果的に使った具体的なクラス例をご紹介します。
10. その他教材作成に関するご意見等をお書きください。
事業に対する評価について 文化庁カリキュラム案の活用について
11. カリキュラム案はクラス計画・内容実施においてどのように役立ちましたか。
12. カリキュラム案にはどのような改善点がありますか。気づいたことがあったらお書きください。
(5) 改善点, 今後の課題について
その他、文化庁事業全体に対するご意見等はこちらにお願いします。

参考資料⑤ 事業後学習者アンケート

アンケートにこたえてください						
1	いつから ^{にちよう} 日曜 ^{べんきよう} クラスで勉強していますか。	ねん 年 がつ 月 から				
2	いま ^{たの} 今のクラスは楽しいですか	とてもたのしい	たのしい	ときどき たのしい	あまり たのしくない	たのしくない
3	にほんご ^{むずか} 日本語は難しいですか。	とても むずかしい	むずかしい	ときどき むずかしい	あまり むずしくない	かんたん
4	いま ^{むずか} 今のクラスは難しいですか	とても むずかしい	むずかしい	ときどき むずかしい	あまり むずしくない	かんたん
5	せんせいおし ^{かた} 先生の教え方はどうですか	とてもいい	いい	ときどき よくわからない	よくわからない	わるい
6	^{にちよう} 日曜 ^き クラスに来てから、 ^{にほんご} 日本語が ^{じょうず} 上手になりましたか。	とても	すこし	あまり	ぜんぜん	
7	^{にちよう} 日曜クラスは役に立ちますか。	とても	すこし	あまり	ぜんぜん	
8	^{がつ} 4月からもここで ^{べんきよう} 勉強したいですか	はい	いいえ	まだわからない		
9	コメント					